

会 議 録

会議の名称	令和3年度川越市廃棄物減量等推進審議会
開催日時	令和3年7月19日(月) 午前10時00分開会 午前11時00分閉会
開催場所	川越市役所7階 第1・第5委員会室
議長氏名	議長(会長):新井正司
出席者(委員) 氏名(人数)	委員:新井正司、大塚淳、田中貴洋、最首洲子、塚越恵美子、 倉嶋真史、村山博紀、嶋田弘二、中野敏浩、今野英子、 中村文明、高橋剛、星野弘志、野平佳紀、青木裕佳子、 大川敏彰、松波淳也、村野昭人(18名)
欠席者(委員) 氏名(人数)	委員:馬場崇、谷口義治(2名)
事務局職員 職・氏名	環境部長:高橋宗人 環境部副部長:山崎茂(環境政策課長) 参事:波立浩一(資源循環推進課長)、藤田雅司(環境施設課長) 課長:山原弥(環境対策課)、清水潤(産業廃棄物指導課)、 新井偉雄(収集管理課) 副課長:長嶋幹生(資源循環推進課) 副主幹:中山伸矢(資源循環推進課) 主任:新井努(資源循環推進課)
傍聴者	伊藤正子
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開 会 2 委員自己紹介・事務局紹介 3 議 題 <ol style="list-style-type: none"> (1) 会長・副会長の互選について (2) 諮問 (3) 川越市一般廃棄物処理基本計画「ごみ処理基本計画」の見直しについて 4 その他 5 閉 会
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会議次第 ・ 審議会委員名簿 ・ 「ごみ処理基本計画」の見直しについて(資料1~8) ・ 川越市一般廃棄物処理基本計画「ごみ処理基本計画」編(貸出用)

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
司 会 資源循環推進課副主幹	<p>皆様、おはようございます。定刻となりました。</p> <p>ただいまより、令和3年度第1回川越市廃棄物減量等推進審議会を始めさせていただきます。よろしくお願いいたします。</p> <p>本日は、20名の委員さんの内、18名の委員さんにご出席いただいております。川越市廃棄物減量等推進審議会条例第5条第2項に基づきます過半数に達しておりますので、会議が成立しておりますことをご報告いたします。</p> <p>なお、田中委員さんにつきましては10分程度遅れると聞いております。</p> <p>本日、ご欠席の委員さんは、馬場委員さん、谷口委員さんでございます。</p> <p>続きまして、本日の会議資料の確認をさせていただきます。</p> <p>事前に送付させていただきました資料が、会議次第、「ごみ処理基本計画」の見直しについての右上にナンバーが書かれております、資料1～7でございます。</p> <p>本日配布しました資料につきましては、審議会委員名簿、資料8、ごみ処理基本計画編（貸出用）でございます。</p> <p>それでは会議に入らせていただきます。本日、傍聴の希望者が1名いらっしゃいます。会議は原則公開となっております。みなさん傍聴人の方をご案内してよろしいでしょうか。</p> <p>【異議なし】</p>
司 会	<p>ありがとうございました。それでは傍聴を許可させていただきます。</p> <p>【傍聴者入室】</p>
司 会	<p>それでは、大部分の委員さんについては、改選されてから初めての審議会となります。委員さんには大変恐縮ですが、名簿順に自己紹介をお願いいたします。</p> <p>今マイクを用意いたしますので、新井委員様からお願いいたします。</p> <p>【自己紹介】 出席した各委員の自己紹介</p>
司 会	<p>ありがとうございました。続きまして、環境部長より環境部職員の紹介をさせていただきます。</p>

	<p style="text-align: center;">【環境部職員紹介】</p> <p>次に、議題に移りたいと思いますが、はじめに本審議会の会長、副会長を決める必要がございます。</p> <p>川越市廃棄物減量等推進審議会条例第4条第1項の規定により、委員さんの互選によって会長さん、副会長さんを決めていただきたいと思います。その進行のために仮議長の選出をお願いしたいと存じます。</p> <p>前回においては、かわごえ環境推進員協議会で、前期副会長の大塚委員さんをお願いしておりますので、大塚委員さんをお願いしたいと存じますがいかがでしょうか。</p>
司 会	<p style="text-align: center;">【異議なし】</p> <p>それでは、大塚委員さん、前に席をご用意しておりますので、よろしく願いいたします。</p>
仮 議 長	<p>ご指名ですので、仮議長を務めさせていただきます。皆様のご協力をお願いいたします。</p> <p>では、議題（1）の「会長・副会長の互選について」でございますが、選出方法につきましては、何かご意見はございますでしょうか。</p>
	<p style="text-align: center;">【意見なし】</p>
仮 議 長	<p>ないようでしたら、事務局、一般的には、どのような方法があるか説明をお願いします。</p>
資源循環推進課長	<p>一般的には、立候補による方法と指名推薦の方法がございます。前は、立候補者がなく、指名推薦による方法で選出されております。</p>
仮 議 長	<p>ただいま、事務局から2つの方法が提示されました。まずは、立候補者をつのり、立候補者がいない場合は、指名推薦による方法で選出したいと考えますが、いかがでしょうか。</p>
	<p style="text-align: center;">【異議なし】</p> <p>それでは、会長の推薦についてですが、いかがでしょうか。</p>

委 員	<p>私から推薦させていただきたいと思います。</p> <p>会長には、川越市の自治会連合会で活躍され、前回会長を務められました、新井委員さんを推薦したいと思います。</p>
仮 議 長	<p>ただいま、会長に新井委員さんとの推薦をいただきましたが、皆様いかがでしょうか。</p> <p>【異議なし】</p>
仮 議 長	<p>ただいま、委員の皆様から同意いただきました。</p> <p>新井委員さん、お受けいただけますでしょうか。</p>
委 員	<p>【承 諾】</p>
仮 議 長	<p>それでは、新会長が選出されましたので、これをもちまして仮議長の職を解かせていただきます。</p> <p>ご協力ありがとうございました。</p>
委 員	<p>【会長挨拶】</p>
司 会	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、川越市廃棄物減量等推進審議会条例第4条第2項の規定に基づき、会長さんに議長になっていただき、進行をお願いいたします。</p>
議 長	<p>それでは、ただ今から、議長を務めさせていただきます。皆様のご協力をお願いいたします。</p> <p>引き続きまして、「副会長の互選」を議題にしたいと思います。</p> <p>まずは立候補をつのります。副会長に立候補される方はいらっしゃいますか。</p> <p>【立候補者なし】</p>
議 長	<p>立候補される方がいらっしゃらないようでございますので、副会長を推薦される方はいらっしゃいますか。</p>
委 員	<p>こちら私から推薦させていただきたいと思います。</p>

議 長	<p>副会長には、かわごえ環境推進員協議会で活躍されている、大塚委員さんを推薦したいと思います。</p> <p>ただいま、副会長に大塚委員さんとの推薦をいただきました。皆様いかがでしょうか。</p> <p>【異議なし】</p>
議 長	<p>ただいま、委員の皆様から同意いただきましたが、大塚委員さんお受けいただけますでしょうか。</p>
委 員	<p>【承 諾】</p>
議 長	<p>ありがとうございました。</p> <p>議題（１）については以上でございます。</p> <p>次に議題（２）に移ります。事務局説明をお願いします。</p>
司 会	<p>ここで新会長及び新副会長が決まりましたので、議題（２）の「諮問」につきまして、市長から会長に諮問書をお渡しいたします。</p> <p>用意まで、しばらくお待ちください。</p> <p>それでは市長から会長に諮問書をお渡ししたいと思います、市長お願いいたします。</p> <p>【諮 問】</p>
司 会	<p>それでは、川合市長からご挨拶をいただきたいと思います。よろしくお願いいたします。</p>
市 長	<p>【挨 拶】</p>
司 会	<p>市長はここで退席させていただきます。</p> <p>【市長退席】</p>
司 会	<p>皆様には、事務局より諮問書の写しをお配りいたします。</p> <p>議題（２）諮問につきましては、事務局からは以上でございます。</p>

議 長	つづきまして、議題（3）について、事務局より説明願います。
環 境 部 長	<p>はじめに、今回の諮問につきましては、廃棄物処理法の定めに基づき、平成27年度に見直しが行われました「ごみ処理基本計画」について、第一次目標年度である令和2年度が到来したこと等により、現計画の見直しを行うものでございます。</p> <p>計画期間につきましては、来年令和4年度から令和13年度の10年間とし、関連する法律や上位計画等が定められたことを踏まえ、収集・運搬、中間処理、及び最終処分といったごみ処理全般にわたります。ご審議いただくものでございます。</p> <p>それでは、資料につきましては担当からご説明させていただきます。</p>
資源循環推進課副課長	<p>議題（3）についてご説明させていただきます。</p> <p>【説 明】</p>
議 長	<p>ただいま、事務局より説明がありました。</p> <p>質問、ご意見等がございましたら、委員の皆様よろしくお願いたします。</p>
委 員	<p>資料7、ごみ処理の課題の中で特にどれが課題となっているかをお聞かせいただければと思います。</p>
資源循環推進課長	<p>はい。課題といたしましては、どれかと言われると非常に難しいところではありますが、それぞれ7項目に対してそれぞれ課題があると認識しているところです。</p> <p>今、感じてますのは、資源化のところでは輸出があまり伸びなかったりですとか、収集・運搬については高齢化が進んでくるので、その部分への対応などが課題、最終処分場については自治体の責務として最後は必ず埋めなくてはならないという課題があります。</p> <p>それぞれの課題について、今後対応していかないとはいけなく考えております。</p>
委 員	<p>3つ申し上げます。1つは、資料6のごみ処理行政の動向について、令和3年5月にプラスチック資源循環促進法というのが公布され、1年以内に施行される予定で、これによって今までのその他プラスチックの各市町村の集団回収だったり、あるいは大規模事業者による回収</p>

だったり、今後ごみ処理の仕方が大きく変化していくと思います。ですから、今年度中に計画を定めますが、詳細についてはまだ国からは出てきてませんので、その辺をいかに把握してプラスチックにかかる分別も含めてやっていくかが1つポイントになってくると思います。

2つ目でございます。令和3年の5月に温暖化対策推進法が施行されて、いわゆる脱炭素社会に向けて、市町村の事業の見直しが義務化されておりました、この中で特に市町村の事務事業編については、市の中で一番温室効果ガスを出しているのは、ごみ処理行政だと思いますので、この実行計画の中にもいかに温室効果ガスを減らしていくかが書いてありますので、それも国から詳細が中々出てこないなかで、今回の計画書の中で、どのように定めていくかということが必要かと思えます。課題7のところでは廃棄物処理事業からの温室効果ガスの排出量が増加傾向にあることから、温暖化問題への理解を深めていく必要があると、市民に対してだけごみの量が増えるから温室効果ガスが増えるというような書き方をされていますが、むしろ市町村のごみ処理として収集から処理に至るまで温室効果ガスを減らしていくかが求められておりますし、市民を巻き込んだ形で両面からやっていく必要がありますので、その認識と具体化に向けた方針をしっかりとやっていく必要があると思います。

それからもう1つ、課題6の最終処分の課題のところでは、最終処分の容積率がもう11.4%しか残っていませんよという認識が示されております。私がざっと計算したところだと、現状のようにほとんど県外の民間の処分場にゆだねていく形であれば、まだ20数年持つかと思えますが、これが例えば県外への処分が上手くいかなければ、たちまち数年でいっぱいになる状況もあると思います。なので、この最終処分というものに対して、今県外に依存しているものを市として、どう認識して長期的に考えていくのかという基本的な考え方について、しっかり議論していかなければならない、それに基づいた抑制をどうしていくかを議論していけないと思います。

資源循環推進課長

まずプラスチックの法律についてです。確かにここで公布ということですが施行が来年というところがありましたので、プラスチック資源循環促進法の表記はあえて入れていないところがございます。お話がありましたとおり、まだ詳細が明確になってない部分がある中で、指摘、助言いただいた部分をどのように反映させていくかについては、今日のご意見をいただきながら、この会議でまた検討していきたいと考えております。

環境政策課長	<p>私からは温暖化の関係を答えさせていただきます。脱炭素については国の方も非常に動いているという現状でして、2030年までに46%削減、2050年までに0にしないといけないというのは皆さん周知のところかと思います。今、国で計画等策定しているかと思いますが、国の動向を見ながら私どもも次年度以降の計画を作りたいと考えておりますので、そのあたりを踏まえながら進めていきたいと考えております。</p>
環境施設課長	<p>環境施設課でございます。最終処分場を管理している部署でございます。ご意見としていただいた最終処分場の延命化につきましては、極力小畔の里をもう少し使えるようにということでやらせていただいております。予算的には、小畔に埋める方法が費用が安いので、小畔に埋めざるを得ない、しかしそうするとすぐに小畔がいっぱいになってしまうということがありますので、そのあたりのバランスを踏まえながら埋め立てについて考えていきたいと思っております。</p>
委員	<p>資料7に関連して2点ございます。ごみ処理の課題として整理されておりますが、その中に欠けている点が2点あるかと思っております。</p> <p>1点目は、このコロナ禍における人々の生活様式の変更ですね、これによってごみの出方が変わってきていると思っております。withコロナ時代のごみ排出構造の視点も必要かと思っておりますのでご意見をいただきたい。</p> <p>もう1点は、温暖化の影響だと思っておりますが、自然災害が非常に多くなっていると思っております。そういった点で災害廃棄物の問題が国からも進めるように言われていると思っておりますが、川越市はどのように考えているかを知りたいです。</p> <p>こういった点がごみ処理の課題に入るものかはわかりませんが、そういった視点も必要かと思いました。</p>
資源循環推進課長	<p>まず、コロナ禍の部分の影響については、委員さんのおっしゃるとおりという部分がございます。まだ報告はできていませんが令和2年度の実績値は大分変わってくる可能性があるかと予測しております。</p> <p>ただ一転、影響がどのくらい続くかという部分もございますので、この点については見込みのところも審議、検討して考えていきたいと思っております。</p> <p>それから災害の部分についてのご助言については、令和3年1月に災害廃棄物の処理計画を策定しましたので、その災害の部分を計画のところに表記するかを検討していきたいと考えております。ご助言い</p>

<p>委員</p>	<p>ただいた部分についてこのように考えていきたいと思ひます。</p> <p>課題4の収集運搬の課題のところ、これから高齢者や障害者の方のふれあい収集が増えていくことが課題だったのですが、確認のため現在どれくらいの方が利用しているのかを教えてくださいませんか。</p>
<p>収集管理課長</p>	<p>収集管理課でございます。現在ふれあい収集に登録していただいている方は約1,000件あります。その中で実際に収集させていただいている方が約800件から900件で推移しておりまして、年間100件程度の増加をしているところでございます。</p>
<p>委員</p>	<p>細かいことではないですが、ふれあい収集を行う流れとしては、担当課の方に電話して予約するのでしょうか。</p>
<p>収集管理課長</p>	<p>申し込みの際は収集管理課にお電話いただき、調査に伺わせていただき調査結果によって実施の有無を決定、決定した方につきましては収集を開始するというかたちです。今現在はケアマネージャーさんが中心に申し込みをいただいている状況です。</p>
<p>委員</p>	<p>前回、ごみ処理基本計画を作った時は過去のトレンドから大体これぐらいになるんじゃないかという推計があつて、その値をもとに目標値を議論したように記憶しているんですけども、また一方で脱炭素のように目標だけぽんと決めて、それを実現するには途中ではこの値をとるというそういう目標の作り方もあるかと思いますが、今回のごみ処理基本計画においては、どういったアプローチを取るとご予定でしょうか。</p>
<p>資源循環推進課長</p>	<p>スケジュール的なところで言ひますと、ごみの予測値というのを次回ご用意する予定でございます。目標値のところにつきましては委員さんがおっしゃったようにどういふ値を設定するかということになると思ひます。現在、国県の目標値が比較的高い数値を設定しておりまして、各自治体がその数値をどう取り入れるかということになるかと思ひます。この数値をどうするかは今の段階では出来上がっておりませんので、今日ご意見いただいたものを含めて、次回もしくはその次には目標値も合わせてご提示できるように考えております。</p>
<p>委員</p>	<p>1つお伺ひしたいのですが、資料7の課題1のところ、4つ目の○のところ、SDGsの達成を踏まえ、とあります、食品ロス及び</p>

	<p>プラスチックごみの削減に取り組んでいく必要がありますということですが、これについては食品ロス削減値も含めて、市で考えているものは何かあるのでしょうか。</p>
資源循環推進課長	<p>これについては、今の段階だとお答えがすぐに出てこない部分がございます。食品ロスのところについては、各市が出る量を把握するのは実際には実態調査をしないと出てこないという課題がございます。中々いわゆる通常やっている清掃センターでの調査以上のものをするという部分がありますので、量としての把握が難しく、実際の政策的なものでは啓発とかそういったところになる部分がございます。それからプラスチックごみの部分につきましては、お話が出ましたように、今後国の動向という部分がありますので、今の段階では具体的な項目はございませんけれども、これについては何かしらの方向性を出していきたいと考えているところでございます。</p>
委員	<p>資料1のところのスケジュールを見ると、素案の作成が7月から始まって10月の後半にかけてとなっているんですが、その期間の中では食品ロスも含めた何らかの目標や位置づけが告示できるという認識でよろしいのでしょうか。</p>
資源循環推進課長	<p>時期はまだ未定ですが、第2回目の将来推計、基本方針、施策体系、この体系のところには何かしらの施策的な内容を出していきたいと考えているところでございます。</p>
議長	<p>その他ございますでしょうか。よろしいでしょうか。それでは、ないようですので、4のその他に移ります。事務局から何かございますか。</p>
資源循環推進課長	<p>今日スケジュール表を予定でお配りさせていただいているのですが、第2回の8月が準備等含めて予定通り開催できるか厳しいかなという認識がございます。8月2日、3日までに開催のご連絡がない場合には第2回目が10月ということになりますので、今の段階では8月は未定ということをお願いしたいと思います。</p>
議長	<p>委員の皆様からは何かございますか。</p>
委員	<p>今まさに10月になるかもというお話がありましたが、私は大学に勤めておりまして講義と重なるとどうしても出席ができないんです</p>

資源循環推進課長	<p>ね。なので、できればオンラインで参加できるように準備を整えていただけるとありがたいと思っております。</p>
議 長	<p>すぐに対応できるかはわからない部分がありますので、それも含めて関係のところに確認は取っていきたいと思います。可能であれば対応、難しい場合は努力をしていくというところだと思いますので、よろしくをお願いします。</p> <p>ぜひ、前向きにご検討いただければと思います。</p>
資源循環推進課長	<p>本日、交通事情で遅れて参加された田中委員さんをご紹介をさせていただきます。</p>
委 員	<p>【自己紹介】</p>
議 長	<p>その他委員の皆さんから何かご意見ございますでしょうか。 ないようでございますので、議事に関しては以上となります。これをもちまして議長の職を解かさせていただきます。ご協力ありがとうございました。</p>
司 会	<p>ありがとうございました。それでは閉会のご挨拶を副会長の大塚さんよりお願いしたいと思います。</p>
副 会 長	<p>【副会長挨拶】</p>
副 会 長	<p>以上をもちまして、第1回川越市廃棄物減量等推進審議会を終了させていただきます、ありがとうございました。</p>
司 会	<p>以上をもちまして、本審議会を終了させていただきます。ありがとうございました。</p>